

## 時事文翻訳添削ノートから

私は毎年授業で時事文翻訳の添削を行っています。翻訳に挑む学生さんたちに具体的な事例に沿って役に立つ情報をご紹介します。

### 情報 15

#### “要～”「～しようとするならば」

“要”には実に様々な意味があり、学生を悩ませますが、しっかり覚えておきたいのが、条件文に使われる“要”。

手ごかりは、必ず、「ねばならない」という語と呼応していることです。どんな語かというと、“必須”“得”などですが、時には意地悪く、そこにも“要”を使っている場合が珍しくありません。

例：要关爱别人，就要先有一颗善良的心。

「他人を思いやろうとするなら、まず、善良な心を持たなければならない」

### 情報 16

#### “～，特别是—”と“～，尤其是—”

どちらも、「～、特に—は」という構文ですが、“尤其是”の方がより書き言葉風で、硬い感じがします。ただ、その他の使い方は全く差異がありませんし、“特别是”を時事文で使っても全く違和感はなく、したがって、一つの文の中で、同一表現の繰り返しを嫌って、この両者を並べて使う例もしばしば見かけられます。

### 情報 17

#### 成語述語文

実はこの「成語述語文」という言い方は、筆者の独創。中国語の4字成語はそれだけで叙述性があり、述語として使えるという意味です。

例：美国领导的多国联盟已名存实亡。

「アメリカが主導する多国籍軍はすでに有名無実だ」

時事文では4字成語が多用されるので注意しましょう。